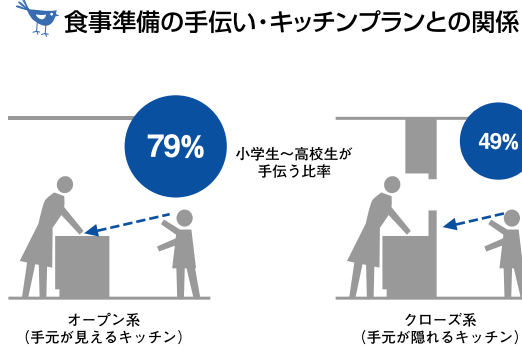
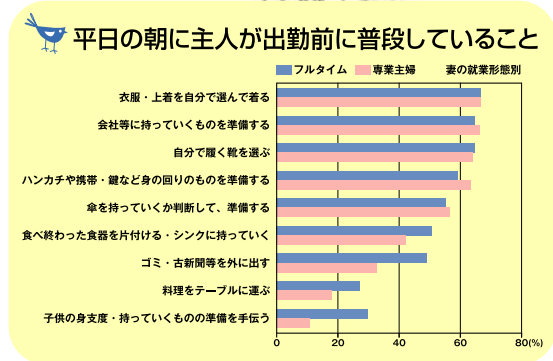
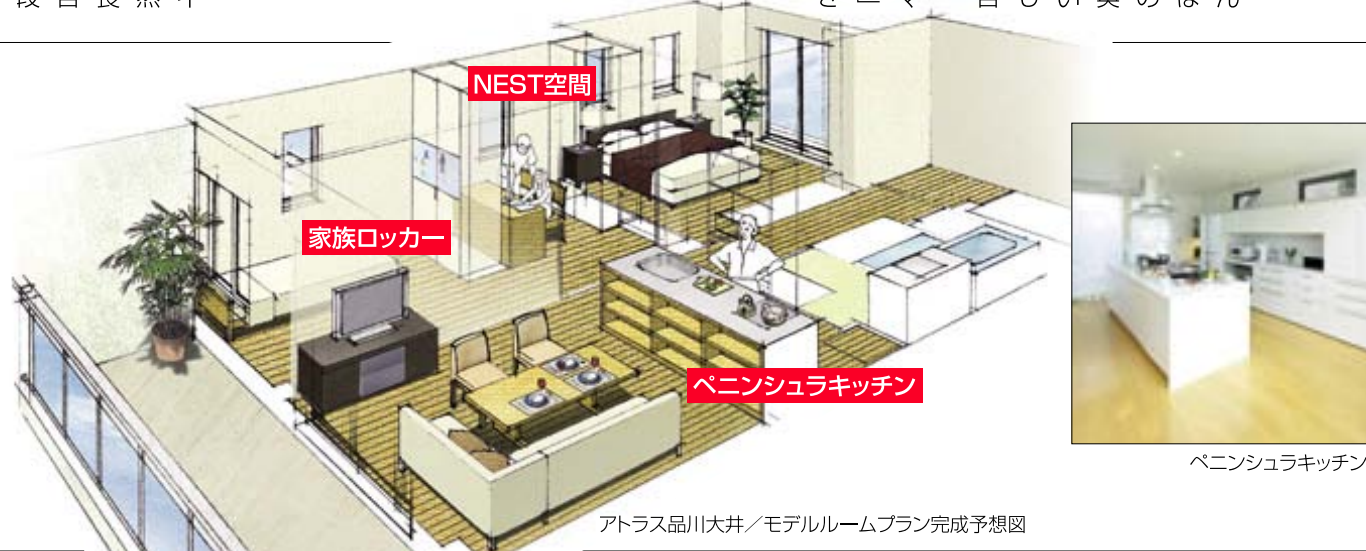


ペンシユラキッチンのようなオープンタイプでは、お母さんの手元が見えるため、自然と子どものお手伝い率が高くなります。食事の準備に限らず、働く姿が見えると、自然とお手伝いできるようになります。普段からお母さんの様子を見るだけでも、家事の共有体験になります。



お母さんと一緒に子供も、たまにはお父さんも。方向から使えるペンシユラタイプはみんなが参加しやすいキッチンです。幅の広いオープンカウンター型のキッチンは、奥行きもたっぷりあり、普段から使いやすいのはもちろん、みんなが使いやすい見通しが効くので、家族のコミュニケーションが自然と生まれます。家族が揃う貴重な時間「朝だんらん」やママ友が集う午後のひととき「おうちカフェ」など、みんなが集まり、みんなで作業ができるから、会話もはずみます。

ペンシユラキッチン
みんなが集まる凝縮された時間

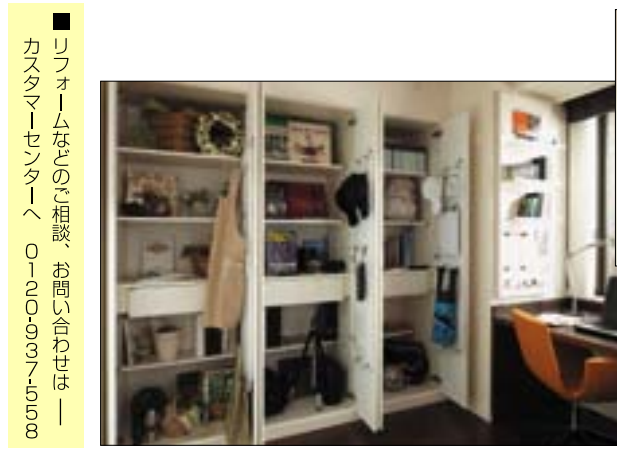


また、「平日の朝に主人が出勤前に普段していること」の調査では、以前に比べて、子育て家族のお父さんの家事参加が随分進んでいるようです。「朝だんらん」には、家族みんなが動きやすくて見通しが効くペンシユラキッチンが向いています。

家族が揃う貴重な時間
朝だんらん家族の幸せを実感

妻が「いいなっ嬉しいなっ」と感じるシーンは...

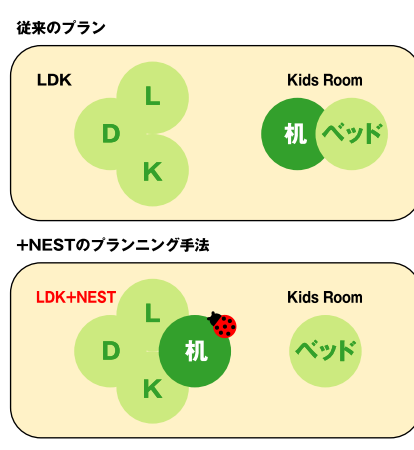
- 元気な挨拶... おはよう！行ってきます！ 行ってらっしゃい！
- 夫が率先して家事・子どもの世話...
- 揃って朝食... 夫が夜遅いので、朝食はみんなで一緒に！
- 子どもと父親が話す大切な時間...



着替えや身支度、家族みんなが知っている収納スペース「家族ロッカー」

「お父さんロッカー」や「お母さんロッカー」、「子供ロッカー」と、家族それぞれに専用の収納場所を設けます。子供は自分専用のロッカーを持つことで「自分のものは自分で整理整頓する」という意識を自然と持つようになり、帰宅時の脱ぎっぱなしや遊んだ後の置きっぱなしが解消されていきます。また、学校のお知らせを扉に掲示したり、帰りが遅かったお父さんへ手紙を書き置くなど、家族の情報交換の場としても活用できます。

※これらのグラフや表は、旭化成オリジナル調査結果から作成したものです。



従来の子供部屋とは別にLDKに子育ての拠点としての空間を内包。親と子がともに育みあう共育のためのスペースです。

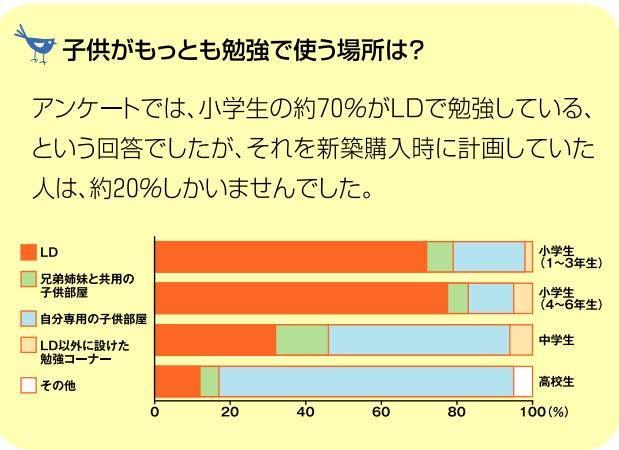
「NEST空間」は親子をつなぐ住まいにも学び、遊ぶ、一緒に過ごす



「NEST空間」は親子をつなぐ住まいにも学び、遊ぶ、一緒に過ごす

限られた面積の中で、親子の関係を満たす空間をどうやってつくりだすか。首都圏を中心に戸建て住宅で実績を重ねてきたヘルハウスならではの発想が生み出したこの設計手法は、「NEST空間」や「ペンシユラキッチン」、「家族ロッカー」の3大キーワードを用いて、子供を部屋に閉じ込めず、オープンなスペースでも学び、遊び、働く、をテーマにした空間づくり。長いようで短い「子供が子供でいる時間」を大切に考える住まいです。

従来は子供部屋にあった机のスペースをLDKにもついでついでと、トータル床面積を増やさずに「NEST空間」をつくります。「NEST空間」はキッチン、ダイニングと接し、リビングからも目が届く場所に設けます。同じ家にいればなんとなく気配を感じることができるといふ関係よりも目を向ければお互いの顔や姿が見える空間のつながりが、一歩踏み込んだ親子のコミュニケーションを深めるのです。「共学」「共遊」「共働」親子をつなぐ住まい。時間と空間と行為を共有することが、子供の学力を向上させ、自分で考える力をのび、豊かな感性を育みます。



リビングダイニングで勉強する家庭の親のそれぞれの理由とは、

なぜ、LDで勉強するようになったかという、親の理由としては、「勉強しているかどうか目が届かなくなるので」「夕飯の支度などをしてる時に子供の勉強を見る必要がある」など。また、子供の理由としては「LDは人がいるのでさびしくないので」「音読」などの宿題を聞いてもらいたいから」「親に勉強を見てもらいたいから」などがあげられます。

夕食の支度の途中で「音読」を聞いたり「百ます計算」を一緒に解いたり。子供の勉強の様子が自然とつかえ、学校や友だちの話も増えます。

子供の遊びを一緒に楽しむことはもちろん、お母さん、お父さんの趣味なども子供に教えたり。大人が子供に関心を寄せるように、子供も大人に興味津々です。

※これらのグラフや表は、旭化成オリジナル調査結果から作成したものです。